

1 経緯

災害時の電源確保及び避難所機能強化のため、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(再生可能エネルギー等導入推進基金事業)を活用して、18か所の避難所へ太陽光発電設備+大型蓄電池を導入した。事業期間は平成26年度から28年度、事業総額は約7億円である。また、各避難所の運営委員会と協力し、災害時の運営体制を整備した。

2 検討状況（専門委員会）

年度.回	日付	協議事項
H26.第1回	H26.9.22	選定基準・選定方法について
H26.第2回	H26.10.24	避難所運営委員会との連携、選定基準の修正について
H26.第3回	H27.3.18	進捗報告、H27年度事業実施場所の検討、総括書について
H27.第1回	H27.6.26	進捗報告、民間の補助事業、H28年度事業の検討について
H27.第2回	H27.11.25	進捗報告、H28年度事業実施場所の検討について
H28.第1回	H28.10.14	進捗報告、避難所における今後の設備活用の方向性について
H28.第2回	H29.2.14	進捗報告、事業の最終とりまとめについて

3 選定基準

- ①日照等パネル設置条件、②避難所機能等災害対策要件、
 ③市内導入バランス等政策的要件、④事業費 ⇒ 18カ所

4 導入状況

公共施設への導入状況は以下のとおり（H27年度：14施設、H28年度：4施設）

区	施設名称	太陽光 (kW)	蓄電池 (kWh)	整備年度
中央	①登戸小	10	15	H27
	②生浜東小	20	15	H27
	③椿森中	10	15	H27
花見川	④柏井小	10	15	H27
	⑤朝日ヶ丘中	10	15	H28
	⑥幕張本郷中	20	15	H28
稲毛	⑦あやめ台小	20	15	H27
	⑧稲丘小	20	15	H27
	⑨柏台小	10	15	H27
若葉	⑩みつわ台南小	20	15	H28
	⑪加曽利中	10	15	H27
	⑫山王中	10	15	H27
緑	⑬小谷小	10	15	H27
	⑭土気中	10	15	H27
	⑮大椎中	10	15	H27
	⑯越智公民館	7.5	10	H28
美浜	⑰磯辺第三小	10	15	H27
	⑱磯辺小	20	15	H27



5 避難所との連携

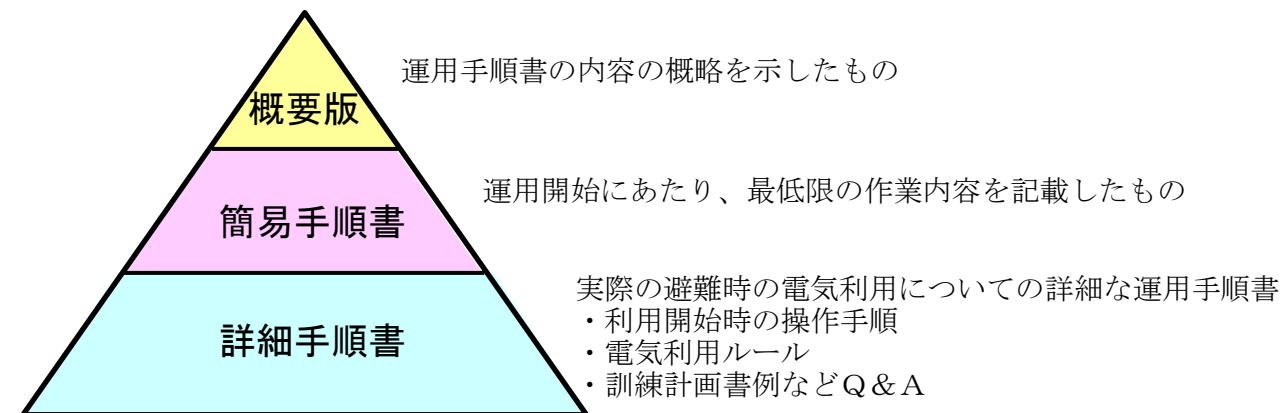
(1) 避難所運営委員会との連携

避難所運営委員会と連携して意見交換・訓練を行いながら運用手順書を作成・調整し、災害時に設備を利用できる体制を構築した。

区	施設名称	意見交換等協議	訓練
中央	①登戸小	○	○
	②生浜東小	○	○
	③椿森中	○	○
花見川	④柏井小	○	○
	⑤朝日ヶ丘中	○	○
	⑥幕張本郷中	○	○
稲毛	⑦あやめ台小	○	○
	⑧稲丘小	○	○
	⑨柏台小	○	○

区	施設名称	意見交換等協議	訓練
若葉	⑩みつわ台南小	○	○
	⑪加曽利中	○	○
	⑫山王中	○	○
緑	⑬小谷小	○	○
	⑭土気中	○	○
	⑮大椎中	○	○
美浜	⑯越智公民館	○	○
	⑰磯辺第三小	○	○
	⑱磯辺小	○	○

(2) 運用手順書の構成



6 導入による効果

導入設備及び設備の有効活用による効果

- 導入設備による効果（年間発電量：255.9MWh、年間CO₂削減量：142t-CO₂）
- ソフト的な効果（委員会活動レベル、周知啓発実施率）
いずれの項目も目標値以上の効果
- 事業満足度（再エネ理解度、再エネ効果有無、避難所の機能強化）（アンケートによる）
いずれの項目でも60%以上がポジティブな評価

7 本事業の他自治体への展開について

設備の有効活用について、千葉市の先進事例をまとめた当該事業の最終報告書をホームページに公開しており、他の自治体が同様の事業を実施するためのスキーム構築に資するよう情報提供を行っている。